

傷寒・金匱方劑解説 59 きー11

音順	方劑名	生薬構成 および製法・服用方法
きー11	橘皮竹茹湯	<p>橘皮 (辛温) 32g・竹茹 (苦平) 5g・大棗 (甘平) 10g・生姜 (辛温) 8g・甘草 (甘平) 5g 人参 (甘微寒) 1g 上の6味を、水 400ml を以って煮て 120ml となし、滓を去り 40ml を 1日3回温服する。</p>
嘔吐噦下痢病脈証併治第十七第 25 条 (金匱要略)		
<p>「^{えつぎやく}噦逆^{つかさど}の者橘皮竹茹湯之を主^{つかさど}る。」</p> <p>解説 シャックリが出だすと止まらない様な者とか、シャックリする度に息が詰まってしばらくは息のつけない者には、橘皮竹茹湯が主治する。</p> <p>橘皮竹茹湯は、橘皮・生姜で胃の陽気を助け、大棗・人参で脾陰を補い、甘草・竹茹で逆気の急迫を止める。</p> <p>橘皮竹茹湯証</p> <p>新古方薬囊によれば「しゃっくりする度に息が詰まりて、暫くは息をつくことが出来ない者。」と記されている。</p>		